

# 2050

美濃加茂市

## 新庁舎整備 基本計画

かわらばん vol.1

西暦2050年頃の市民生活や行政サービスを予測しつつ、未来のまちづくりにとってふさわしい新庁舎整備を考えていきます。

### 美濃加茂市の新庁舎整備の経緯

美濃加茂市役所の本庁舎本館は、昭和36年(1961年)に完成して以来、57年間にわたって利用されています。しかし、本庁舎は、老朽化や狭あい化等の問題を抱えています。そこで、市は平成30年3月に、今後の新庁舎整備の方向性を示す「美濃加茂市新庁舎整備基本構想」を策定しました。

平成30年度からは、この基本構想を基に、新庁舎の整備地・整備手法・機能や規模等に関してより詳細な事項を記載する「美濃加茂市新庁舎整備基本計画」の策定にとりかかっています。この基本計画は、「美濃加茂市未来のまちづくり委員会」において議論されています。

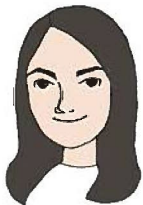
### 第1回・第2回 美濃加茂市未来のまちづくり委員会を開催しました

第1回委員会(8月2日)では、各委員が、美濃加茂市のまちづくりや新庁舎整備について意見を述べました。

第2回委員会(9月7日)では、新庁舎の4つの候補地を1つにしぼるための指標について、議論を交わしました。



海道委員会会長(左)へ渡す諮問書を読み上げる伊藤市長



若い人たちの意見が反映できるように計画づくりを進めて、実際に若い人が来てくれるような市役所を目指すことが重要かと感じています。



民間事業者を活用することが大切。また、公共交通を活用してみんなが幸せに暮らせるためにはどうすべきかについて議論していきたい。

あい愛バスについては、本数は増えたが、利用者を増やすための検討の余地はまだある。誰もがどこに住んでいても容易に移動できるような公共交通を整備することがポイントである。



財源の問題をしっかりと見据えて議論をしていかなければいけない。また、市民が利用しやすいような公共交通との兼ね合いも重要になる。また、発想を変えて市役所を駅から離れたところに持つのも選択肢のひとつ。



人口減少、生産年齢人口減少、高齢化率増加、税収は増えない、こういった現実を踏まえてまちづくりを考えないと、その計画は夢物語に終わってしまう。庁舎については「みんなが集まれるね」と言われるようなものにしていきたいです。

まちづくりについては、私を含めて受け身である市民が多い。まちづくりを自分ごとにしてできる人が増えるとよいです。



美濃加茂は、エリアごとにより特色がある。人や地域文化の交流・連携などのネットワークをよりよくするための新庁舎を考えていきたいです。



今回、まちづくりと庁舎整備を一緒に考えることで、まちの人の流れや、まちのイメージを変えることができる大きなチャンスなので、それを期待して議論していきたいです。

新庁舎は、子育て家族も高齢者も誰もが気軽に立ち寄り、相談できる拠り所となると良いですね。災害時の対応も含め、まちに安心と活気をもたらす新庁舎とまちづくりについて考えたいです。



### 委員の紹介(敬称略)

海道清信 (名城大学 都市情報学部教授)

鈴木 登 (美濃加茂商工会議所 会頭)

生田京子 (名城大学 理工学部准教授)

宮口 誠 (社会福祉法人慈恵会 企画調査官、

美濃加茂市高齢者施策等運営協議会委員)

須藤美音 (名古屋工業大学 大学院工学研究科准教授)

渡邊博栄 (美濃加茂市教育委員)

原田峻平 (岐阜大学 教育学部助教)

長谷川尚子 (市民団体代表)

高井 厚 (市議会新庁舎建設特別委員会 委員長、市議会議員)

※ 委員とその所属等は、第2回委員会開催時現在

委員会会長には名城大学の海道教授が選出されました!



世界に誇れる美濃加茂らしい市役所のあり方を考えていきましょう。

最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>



# 2050

美濃加茂市

## 新庁舎整備 基本計画

かわらばん vol.2

西暦2050年頃の市民生活や行政サービスを予測しつつ、未来のまちづくりにとってふさわしい新庁舎整備を考えていきます。

### 第3回 美濃加茂市未来のまちづくり委員会を開催しました

新庁舎整備にむけて、美濃加茂市未来のまちづくり委員会では、まず、望ましい新庁舎の位置はどこかという議論をしています。(第3回委員会は11月2日に開催)

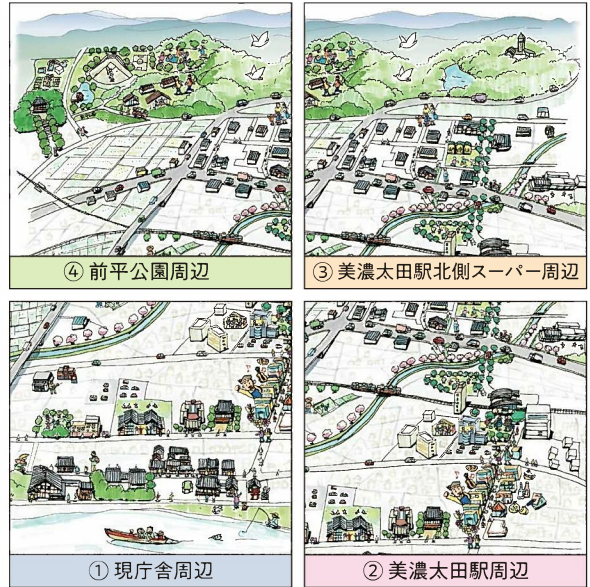
「①現庁舎周辺」、「②美濃太田駅周辺」、「③美濃太田駅北側スーパー周辺」、「④前平公園周辺」という4つの候補地について、委員会は、候補地を1つにしぼるための指標に基づいて議論しています。2019年の2月には、新庁舎の整備地について委員会の結論を出し、市長へ提言する予定です。

### 美濃加茂市の新庁舎候補地の紹介



### 新庁舎将来イメージ図

下のイラストの詳細な内容は、新庁舎の位置や形状を含めて仮のものです。



	① 現庁舎周辺	② 美濃太田駅周辺	③ 美濃太田駅北側スーパー周辺	④ 前平公園周辺
土地所有者	市(本庁舎、本庁舎駐車場、分庁舎等)	市(大手町公園、市商業ビル用地、シティホテル駐車場等)	民間	市(前平公園の一部及び岐阜県畜産研究所用地 ※)
アクセス(候補地の中心までの距離)	美濃太田駅から約700m	美濃太田駅から約150m	美濃太田駅から約700m	美濃太田駅から約1,800m 前平公園駅から約500m

※ 岐阜県畜産研究所の土地(市が県へ無償貸出中)が、県から市に返還されるのは2024年(平成36年)度以降

### 候補地評価指標

1. 立地適正化計画(案)との関係	安全性	経済性		市民のにぎわい、利便性		地域資源
	2. 防災面において安心であるか	3. 土地取得以外の費用が抑えられているか	4. 駐車場を含めて必要な面積が確保できるか	5. 利便性が高く、人の流れができ、にぎわいが創出できるか	6. 誰もが立ち寄りやすい場所か	7. 地域資源(歴史・伝統・自然環境を含む)が活かせるか

最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>



# 2050

美濃加茂市

## 新庁舎整備 基本計画

かわらばん vol.3

西暦2050年頃の市民生活や行政サービスを予測しつつ、未来のまちづくりにとってふさわしい新庁舎整備を考えていきます。

## 未来のまちづくり委員会 中間答申

### 新庁舎整備地「美濃太田駅周辺」を選定！

美濃加茂市未来のまちづくり委員会（会長：海道清信名城大学教授）は、2018年8月2日から計5回の委員会での審議を経て、中間答申をとりまとめました。

委員会は、新庁舎の整備地について、4つの候補地から「美濃太田駅周辺」を選定し、2019年2月12日、中間答申を市長へ手渡しました。



伊藤市長へ中間答申を手渡す海道市長（中央）と渡邊副会長（左）

### 中間答申のポイント

#### 評価指標

##### A 立地適正化計画(案)との関係

基本構想を基にした指標	安全性	B 防災面において安心であるか
	経済性	C 土地取得以外の費用が抑えられているか
		D 駐車場を含めて必要な面積が確保できるか
	市民の にぎわい、 利便性	E 利便性が高く、人の流れができ、にぎわいが創出できるか
F 誰もが立ち寄りやすい場所か		
地域資源	G 地域資源(歴史・伝統・自然環境を含む)が活かせるか	



### 新庁舎候補地絞り込みの3つの視点

- (1) 評価指標による比較
- (2) 経済性と実現性等による検討
- (3) 美濃太田駅周辺における庁舎の床面積確保及び整備費用の検討

上記の検討を経て、美濃加茂市未来のまちづくり委員会は、新庁舎の整備地として「美濃太田駅周辺」を選定しました。

### 今後の予定

- 2019年4月以降、未来のまちづくり委員会は、新庁舎の整備手法、規模、機能等について議論していきます。
- 委員会は2019年10月頃に、新庁舎整備基本計画について最終答申をまとめて市長へ手渡します。
- これを受けて市は、2020年3月までにパブリックコメント等を経て、新庁舎整備基本計画を策定する予定です。

最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>



# 2050

美濃加茂市

## 新庁舎整備 基本計画

かわらばん vol.4

西暦2050年頃の市民生活や行政サービスを予測しつつ、未来のまちづくりにとってふさわしい新庁舎整備を考えていきます。

### 新しい市役所をつくることは未来のまちをつくること

美濃加茂市未来のまちづくり委員会では、新庁舎整備基本構想に掲げる新しい市役所をいかしたまちづくりの実現にむけた新庁舎整備基本計画を検討しています。

第6回(H31.4.19)、第7回(R1.5.24)の委員会では、主に新庁舎の機能や規模について審議しました。これから配置計画、事業方法などについて考えていきます。



#### 新しい市役所をいかしたまちづくりの理念「現代版太田宿」

…人の流れ・にぎわい・つながり・コミュニティ・歴史・文化・次世代・地域資源…

を実現するために、



#### 新しい市役所づくりの基本理念「みんなのまあるいまちづくりひろば」

…市民が主役、暮らしを豊かに、まちづくりの拠点、魅力的なところ…

を大切にしたい市役所が求められます。そこで、

#### 基本理念を実現するための5つの基本方針

「まちが元気になる庁舎」 「安全で安心な庁舎」 「すべての人にやさしい庁舎」

「市民が集う開かれた庁舎」 「持続可能な庁舎」

に基づいて、新庁舎の機能について検討しています。

### もっと便利に、快適に、そしてにぎわいを添えて～新庁舎の機能のイメージ～



■ 安心して相談、スムーズに、スピーディーに手続き  
「すべての人にとって利用しやすい窓口」



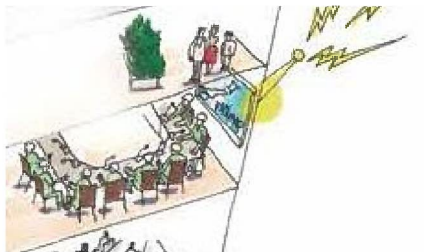
■ オープンフロアでフレキシブルに対応できる  
「快適で働きやすいオフィス」



■ 多目的トイレや授乳室、わかりやすいサイン  
「みんなにやさしいユニバーサルデザイン」



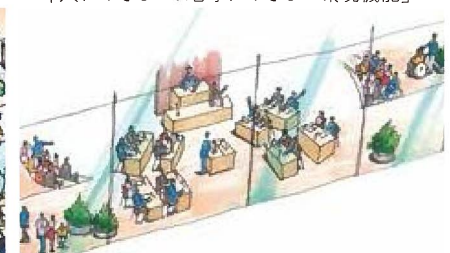
■ 免震構造の導入や災害対策機能の充実「地震など災害に強い防災拠点」



■ 省エネ、自然エネや郷土材の利用  
「人にやさしい、地球にやさしい環境機能」



■ 庁舎のナカやソトでにぎわいや市民の交流が生まれる「市民とつながる・まちとつながる」



■ 見やすい、聴きやすい、市民にわかりやすい  
「市民に開かれた議会運営機能」

最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>



# 2050

美濃加茂市

## 新庁舎整備 基本計画

かわらばん vol.5

西暦2050年頃の市民生活や行政サービスを予測しつつ、未来のまちづくりにとってふさわしい新庁舎整備を考えていきます。

### 新しい市役所をつくることは未来のまちをつくること

現在の市役所本庁舎本館は昭和36年に建てられ、今も大切に使われています。しかし、築58年が経過し、新しい市役所について考えるようになりました。市では「新しい市役所をつくることはまちの未来をつくること」として考え、平成29年度に新庁舎整備基本構想を策定し、平成30年度より新庁舎整備基本計画を検討しています。そこで、このたび新庁舎整備についての市長との意見交換会を開催いたします。



#### 新しい市役所をいかしたまちづくりの理念「現代版太田宿」

…人の流れ・にぎわい・つながり・コミュニティ・歴史・文化・次世代・地域資源…

を実現するために、



#### 新しい市役所づくりの基本理念「みんなのまあるいまちづくりひろば」

…市民が主役、暮らしを豊かに、まちづくりの拠点、魅力的なところ…

を大切にしたい市役所が求められます。そこで、

#### 基本理念を実現するための5つの基本方針

- まちが元気になる庁舎
- 安全で安心な庁舎
- すべての人にやさしい庁舎
- 市民が集う開かれた庁舎
- 持続可能な庁舎

に基づいて、  
新庁舎について  
検討しています。

## 新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会

■ 8月20日(火) 午後7時～8時30分  
山之上交流センター

■ 8月21日(水) 午後7時～8時30分  
上古井交流センター

■ 8月26日(月) 午後7時～8時30分  
蜂屋交流センター

■ 8月27日(火) 午後7時～8時30分  
三和交流センター

■ 8月28日(水) 午後7時～8時30分  
下米田交流センター

■ 8月29日(木) 午後7時～8時30分  
加茂野交流センター

■ 9月2日(月) 午後7時～8時30分  
生涯学習センター

■ 9月3日(火) 午後7時～8時30分  
伊深交流センター



現代版太田宿  
イメージ図

- 申込み 参加希望者は当日会場へお越しください。  
※お住まいの地域以外の会場も参加できます。  
※会場によっては駐車場に限りがあるのでご了承ください。

- 問合せ 美濃加茂市経営企画部企画課  
TEL 0574-25-2111 内 247

最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>

